



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

yamaguchi Japanese Red Cross Society

赤十字やまぐち

2013
Autumn
秋号

発行／日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口県山口市野田 172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

人間を救うのは、人間だ。 Our world.Your move. 赤十字150年

県民の皆様へ

7月末の記録的豪雨災害では、短時間のうちに、住み慣れた家や生業の場、丹精こめられた農作物などが濁流に押し流されてしまいました。犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された多くの皆様に心からお見舞いを申し上げます。

近年は全国各地で気象変動の影響と思われる集中豪雨や竜巻などが発生していますが、こうして災害の現実に直面しますと、改めて抗いようのない自然の脅威を思い知られます。

日赤山口県支部では、災害救護を事業活動の中心に位置づけ、今回も災害発生の直後から、救援物資を配布し、医師・看護師等からなる医療救護班が、被災地を巡回して医療・健康相談、指導等を行いました。また、災害救護奉仕団の方々は、被災地に入って家屋清掃等の活動をされ、赤十字奉仕団や青少年赤十字の方々による自発的な活動も行われました。

東日本大震災から2年半。東北地方において、日赤は海外救援金をもとに、引き続き、医療機関や学校、保育所、福祉施設などの再建整備や漁業などの再建に向けて、復興支援事業に取り組んでいますが、県内においても、いつ発生するか分からず災害に備えて、救護装備・救援物資を整備するとともに、医療救護班やボランティア等による救護訓練・研修などを重ね、災害救護体制の万全を図っています。

皆様からお寄せいただく、社費や寄付金は、こうした山口県内の災害救護活動をはじめとする広範な事業活動や日赤本社を通じて、人間のいのちと健康、尊厳を守る各般の赤十字事業に有効に活用させていただいています。

今年は赤十字創設から150年、日赤山口県支部が創立されてから125年です。日赤は、今この時もこれからも、皆様からのご支援ご協力をいただきながら、人道の実現をめざした活動を進め、新たな歴史を重ねていきます。



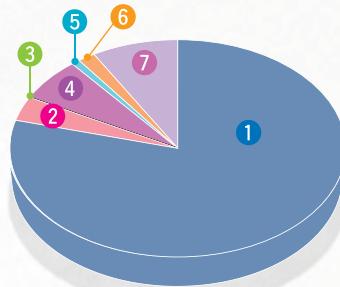
日本赤十字社
山口県支部長

二井 関成

皆様の温かい善意は次のような事業に役立っています。



6月10日山口市において開催された平成25年度第1回評議員会では、平成24年度の事業報告、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算について審議され、承認されました。



平成 24 年度歳入

皆様のご協力ありがとうございました。

- ① 社資収入 261,046,714円
- ② 委託金等収入 11,829,142円
- ③ 補助金及び交付金収入 21,000円
- ④ 繰入金収入 21,000,000円
- ⑤ 貸付金償還金収入 3,000,000円
- ⑥ 雑収入 5,315,749円
- ⑦ 前年度繰越金 26,755,147円

平成 24 年度歳出 ～山口県支部で行った主な事業・活動について紹介します。～

〈歳入〉 計328,967,752円

● 災害救護活動のため

34,236,819円

○いざというときのために！様々な訓練を実施しています。



▲H24.10.27～28 中国四国各県支部合同訓練。優しく声を掛けながらけがの手当を行なう救護要員



▲H25.3.11 「どうすれば迅速にテントが張れる？」急速展張のできる救護所用テントの設営を訓練する救護要員

○自動体外式除細動器(AED)の整備や次のような救援物資の備蓄・整備をしています。



▲安睡セット



▲緊急セット



▲圧縮毛布

● 救護看護師養成のため

10,200,000円



救護看護師を確保するために看護大学等において、看護師等の資格取得を目指す学生に対し、平成24年度は、17人に奨学金を貸与しました。

40,549,942円

● 国際救護活動等のため



アジア・大洋州に給水・衛生キットを配備するとともに、ベトナムにおける災害対策として、マングローブなどの防風林の植林、小学校の教師への災害対策研修を支援しました。

▲マングローブの植林を行うベトナム赤十字社職員

● 奉仕団活動・青少年赤十字活動のため

16,169,480円

赤十字ボランティアや世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成を行っています。



▲「傷病者に振動を与えないように」中国四国各県支部合同訓練で、けが人の搬送を行なう防災ボランティア



▲「そうすれば良いのね！」H24.7.9～10山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会では、切磋琢磨しながら、非常食炊き出しの訓練を行いました。



▲H24.11.16～22 青少年の国際理解と親睦を深めるため、韓国から2名の高校生を受け入れ、県内の小・中・高校生と交流しました。（山口市立湯田小学校での一コマ）

- ① 災害救護活動のため 34,236,819円
- ② 救急法等普及活動のため 14,194,368円
- ③ 國際救護活動・本社の全国的事業のため 40,549,942円
- ④ 奉仕団活動・青少年赤十字活動のため 16,169,480円
- ⑤ 医療社会福祉活動のため 8,890,518円
- ⑥ 血液事業推進のため 545,564円
- ⑦ 救護看護師養成のため 10,200,000円
- ⑧ 市町における赤十字事業のため 42,086,572円
- ⑨ 赤十字思想普及のため 15,000,595円
- ⑩ 社業振興事業のため 12,035,684円
- ⑪ 施設設備管理のため 6,172,047円
- ⑫ 事業管理運営のため 34,171,184円
- ⑬ 災害等資金積立のため 56,441,758円
- ⑭ 償還金支出のため 3,000,000円
- ⑮ 翌年度繰越金 35,273,221円

〈歳出〉 計328,967,752円

5月の赤十字運動月間の取り組み

～今年も様々なイベントを行いました～

人々に寄り添い続けて一世紀半 ～「赤十字150年写真展」を開催～

スイス人アンリー・デュナンが、「戦争で傷ついた人々を敵味方の区別なく救護する」という想を得て、赤十字を創設してから今年はちょうど150年にあたります。

アンリー・デュナンの誕生日（5月8日）にあたる世界赤十字デーに東京からスタートした「赤十字150年写真展」は、世界中で助けを必要とする人々に寄り添い続ける赤十字の姿を知つていただくため、全国10カ所で順次開催されています。



山口県では、中四国唯一の開催地として、5月29日～6月9日の間、山口県立山口博物館にて開催しました。

観覧者からは、「赤十字の歴史の重みがよく分かった」「様々な場面でいきいきと活動する人たちの表情が印象的」など感想をいただきました。

赤十字をもっと身近に ～今年も「一日赤十字」のイベントを開催～

5月19日（日）、ゆめタウン宇部にて、広く市民の皆様に赤十字への理解を深めていただき、より身近に感じてもらうため、山口県支部、小野田赤十字病院、山口県赤十字血液センターが合同で開催しました。



▲「いざというときに役立ちます」
赤十字救急法の胸骨圧迫を体験していました。



▲「あなたは高血圧？低血圧？」
看護師等による健康チェック



▲子どもに囲まれて嬉しそうな
けんけつちゃん

あなたの街でもいかがですか？ ～「あなたとともに赤十字」パネル展が県内を巡回～

当支部では、今年度から「あなたとともに赤十字」パネル展を始めました。5月1日、山口県庁での展示から始まり、山口市、宇都市、周南市と巡回しました。

赤十字の成り立ちから現在まで、東日本大震災での救護活動の紹介などを含め計11枚のパネルにしています。

赤十字やその活動への理解を深めていただくとともに、活動を資金面で支えていただく社員への加入や赤十字ボランティア等への参加協力をお願いするこのパネル展。あなたの街でもいかがですか。

今、パネルを展示していただける企業・団体様を募集しています。社会貢献の一環として是非よろしくお願いします!!



▲5月5日「山口市青空天国いこいの
広場」にて

夏本番！水の事故から児童の命を守ります！

山口県支部では、毎年、夏休み期間中に保護者がプール監視をするときに必要な知識と技術の習得のための講習を実施しています。今年も夏休み開始前までに、県内104カ所、3,460名の方に受講していただきました。

山口県支部では、県内各地域で救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援講習などの「いのちと健康を守る」ための各種講習会を開催しています。

「苦しんでいる人を救いたい」という誰もが持っている優しい心を行動に移す自信と勇気を育んでみませんか？詳しくは「日本赤十字社山口県支部」までお問い合わせください。



▲「ペットボトルを使って浮けるかな？」
7月27日山口市立大歳小学校にて

平成25年7月28日大雨災害活動報告

平成25年7月28日の未明から萩市、山口市、阿武町を中心に大きな被害をもたらした豪雨災害に際し、山口県支部では、直ちに救援物資を搬送し、7月31日、8月1日には医療救護班の派遣等を行いました。

医療救護班は、医師1人・看護師3人・事務要員2人の計6人で構成され、被災地に到着次第、救護所の開設や戸別訪問等により、傷病者の手当、健康相談・指導等の救護活動にあたります。

今回は、交通事情等もあり、島根県支部の医療救護班の協力をいただきました。

また、被災地においては、赤十字奉仕団や青少年赤十字加盟校によるボランティア活動も様々に実施されました。

義援金の受付は、8月7日から9月30日まで実施しました。山口県支部に寄せられた義援金は、8月22日現在で、11,617,586円です。今後、県の義援金配分委員会の決定に基づき、被災市町を通じて、全額被災者に届けられます。

被災地にお届けした救援物資

	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	安眠セット (セット)	バスタオル (枚)
萩市(①)	160	60	115	290
むつみ	30	0	15	50
田万川	80	42	55	120
須佐	50	18	45	120
山口市(②)	0	3	116	265
山口	0	0	0	240
阿東	0	3	116	25
合計(①+②)	160	63	231	555



▲被災地に届けるため救援物資を車両に積込む職員



▲被災地にて、ニーズ調査を行う職員と赤十字防災ボランティア



▲山口市阿東にて世帯を回り、住民の相談にのる医療救護班

「赤十字サポーター」認定制度が始まりました！

定期的・継続的に日赤活動支援資金の納入とともに、企業・団体等の事業・活動に関連した赤十字へのご支援・ご協力をお願いするため、企業・団体等の皆様を対象に、今年度から「赤十字サポーター」の認定制度を始めることとしました。

企業・団体等の皆様から、ご支援ご協力のお申し出をいただきましたら、審査の上、「赤十字サポーター」として認定し、「認定証」をお渡しするとともに、プレスリリースや広報誌、ホームページ等で公表させていただきます。

支援方法の例

日赤活動支援資金について、一時金又は1万円以上の分割により納入していただくとともに、次のような方法でご支援ご協力をお願いします。

①日赤活動支援キャンペーン等による寄付、②寄付金付き自動販売機や募金箱の設置、③災害救援物資や運搬等のサービスの提供、④赤十字関係講座・講習会等の開催協力、⑤赤十字広報への協力など、企業・団体様の条件に合わせた様々な支援方法を選択していただけます。また、オリジナルな支援協力方法も募集しています。



売り上げの一部は日本赤十字社の活動資金として寄付されます。



わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。

商品等に「赤十字支援マーク」を貼付し、売り上げの一部を日赤に寄付していただくこともできます。

山口県内

赤十字施設のご案内

総合病院山口赤十字病院

感染症対策に取り組んでいます。

総合病院山口赤十字病院

当院は、県央部に位置し、県内最大の二次救急医療圏において救急医療を含む急性期医療を主体とした基幹病院としての機能を担っています。特に、地域周産期母子医療センターや小児救急医療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院としての特徴的な機能を備え、各分野において、山口赤十字病院の理念でもある“あたたかな信頼における医療”を提供しています。

また、近年は特に感染症対策にも重きを置いています。感染症は、入院している人や、病気を持っている人のみならず、健常者でも、様々な年齢・場面で罹患する危険があります。感染症の中には、病気や治療が原因となって免疫機能が弱くなると日頃では予測できないような細菌やウイルス、真菌(かび)などが原因で引き起こされるものや、いちど発生してしまうと急速に地域に拡大するものなど、その特徴は多種多様です。特に後者については、皆様一人ひとり、地域ぐるみでの感染防止への取り組みが重要となります。

当院では、市内外の総合病院との研修会や施設訪問等を行い、お互いに評価・連携することによって、自院の感染対策の見直しや、地域での感染防止意識の一層の向上に努めています。



▲ICT(感染制御チーム)活動風景

〒753-8519

山口県山口市八幡馬場 53 番地の 1

TEL. 083-923-0111 FAX. 083-925-1474

<http://www.yamaguchi-redcross.jp/>

(診療科目) 内科、消化器科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、乳線外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科、麻酔科、(緩和ケア科)

(病床) 病床数475床

小野田赤十字病院



〒756-0889

山口県山陽小野田市大字小野田 3700 番地

TEL. 0836-88-0221 FAX. 0836-88-2733

<http://www.onoda-redcross-hosp.jp/>

(診療科目)

内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経科、外科、整形外科、肛門科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科
(病床) 一般病床40床、療養病床92床

(老人保健施設) 入所定員100名

住み慣れた地域で
安心した生活を。

小野田赤十字病院

当院は、急性期医療を行う一般病棟、慢性期医療を行う療養病棟、そして老人保健施設や在宅介護支援センターを併設し、保健・医療・福祉のトータル機能で地域の方々のニーズに対応しています。

在宅医療が必要な方へは医師と看護師による「訪問診療」を行い、住み慣れた地域で安心して暮らせるように質の高い医療の提供を行っています。

また昨年8月より、認定看護師による「がん看護相談外来=がんの治療や不安なことなどの相談」と「摂食嚥下相談外来=口からおいしく安全に食べることの相談」を行っています(いずれも相談は無料)。

さらに健康な暮らしへの啓発活動として、自治会等へ出向き出前健康講座も実施しています。

山口県赤十字血液センター



〒753-8534

山口県山口市野田 172-5

TEL. 083-922-6866 FAX. 083-922-7073

フリーダイヤル 0120-456-122

<http://www.yamaguchi.bc.jrc.or.jp/>

若い方々に献血がもっと身近になるように

山口県赤十字血液センター

近年、10代・20代の献血人口が減少しています。これから献血を支えていく若い方々が献血の大切さを知り、献血に参加していただくことがとても大事です。

血液センターでは、「献血がもっと身近になるように」と生徒さん、学生さんを対象としたいろいろなイベントを行っています。

夏休み中には小学生を対象とした「赤十字1日体験教室」、1年を通じて各学校に出向いての「出前講座」、実際の仕事を体験していただく「職場体験学習」等々。

今は献血に参加できなくても、献血を身近に感じていただくことで、将来の献血を支える一員になっていただけたらと考えています。

東日本大震災義援金について

受付期間は平成26年3月31日までです。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

現在の受付・配分状況等は下記のとおりです。

【受付状況】

山口県支部で受け付けた義援金は、13億8644万609円(平成25年7月31日現在)。支部受け付け分を含め日本赤十字社・共同募金会で受け付けた義援金は、3689億7387万3832円(平成25年7月19日現在)です。

【配分状況】

義援金の配分は、被災された方々の実情をもっとも把握している被災地の行政が担当しています。

この度の東日本大震災では、被災地の行政自体が大きなダメージを受けたため、被災者の実情把握等に時間がかかってしまいました。

皆様には、ご心配をおかけしましたが、現在は、被災された自治体に順次、お届けしています。

受付総額のうち、関係都道県(15都道県)、市町村、被災者に配分された額は、

都道県 約 3678 億円(受付総額に対し、約 99%)

市町村 約 3539 億円(受付総額に対し、約 96%)

被災者 約 3398 億円(受付総額に対し、約 92%)

(平成25年7月19日現在)

皆様から寄せられた義援金は、日本赤十字社の活動に使われることは一切なく、被災都道県、市町村を通じて、全額被災者に届けられます。

高額寄付者のご紹介

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた方をご紹介します

平成25年2月から7月までの当支部受付分から

(敬称略)

10万円以上

末廣 泰生(山口市)

ほか7名

100万円以上

青見 久代(岩国市)

浅野 孝(山口市)

50万円以上

武田 春子(山口市)

株式会社西京銀行(周南市)

山村 元一(山口市)

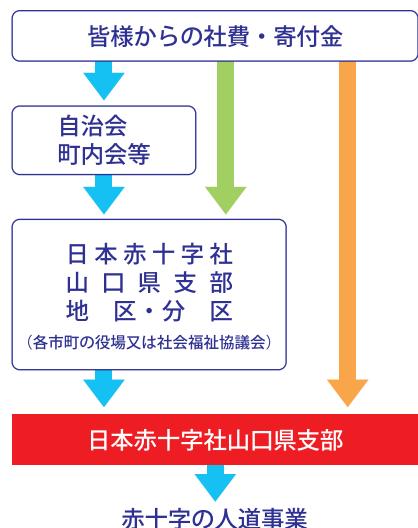
慶弔金のお返しで ご寄付ができます



「香典」や「お祝い」、「お見舞」のお返し等を日本赤十字社山口県支部へご寄付いただけませんか。ご寄付いただいた場合、慶弔金に対するお礼状に日本赤十字社山口県支部からのお礼状を添えて、作成・印刷します。また、この場合の寄付金は、税制上の優遇措置が受けられます。

遺贈による寄付も受付けています。

皆様からお寄せいただいた活動資金 (社費・寄付金) の流れ



個人・法人問わず誰でも「赤十字社員」に加入いただけます。

(赤十字社員の方が拠出される資金を社費とよんでいます)

①郵便局からの振込みでの参加

お近くの郵便局からお振込みいただけます。

(口座番号) 01590-3-4076 (加入者名) 日本赤十字社山口県支部

②口座振替による参加

「社員加入申込書」をお送りいただくことで、預金口座振替(自動引き落とし)により毎年継続して社費を納入していただくことになります。

③インターネットでの参加

インターネットで簡単に赤十字社員に加入できます。

※②、③は一回 2000 円～ご協力いただけます。

※②、③の詳細につきましては、日本赤十字社本社ホームページ(<http://www.jrc.or.jp/>)をご覧ください。

※寄付金も金額を問わず随時受付を行っています。

※日赤に寄せられた社費・寄付金には税制上の優遇措置があります。

日赤への寄付について
お気軽に問い合わせください

日本赤十字社山口県支部
TEL.083-922-0102
FAX.083-932-3615



日本赤十字社 山口県支部

〒753-0094 山口県山口市野田 172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>